

第2学年 社会科学習指導案（歴史的分野）

指導者 小貫 香織

1 単元名 日清・日露戦争と東アジア

2 本時の目標

- 日清・日露戦争，韓国併合などの歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究して近代の特色を捉えようとし，国際協調の大切さを考えようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 日清・日露戦争，韓国併合などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 日清・日露戦争，韓国併合などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。 (資料活用の技能)
- 我が国の国際的地位が向上したことを理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

本単元は，学習指導要領の歴史的分野・内容（5）「近代の日本と世界」のウをうけて設定した。ここでは、『日清・日露戦争』については、『このころの大陸との関係に着目させ』て，戦争に至るまでの我が国の動き，戦争のあらましと国内外の反応，韓国の植民地などを扱う。」としている。

本学級の生徒は，学習に対し真面目に取り組むことができる。しかし，自分の考えを述べることに苦手意識をもっている生徒は多い。

そこで本単元では，課題について，「伝える」「聴く」場を設定し，聴き手を意識した話の内容を考えたり，他の生徒の意見を参考にしたりすることで，自らの考えを深めたり，自分の思考や判断を高いものにしていくようにする。このような意見交換をする場を授業の中に取り入れていきたい。活発な意見交換が行われるためには生徒の興味を引く課題を設定することが大切であると考え。

授業の最後には意見交換で出てきたキーワードを使って，自分の言葉で課題をまとめさせる。このような活動を行うことで歴史的事象について，多面的・多角的に考察できると考える。意見交換や資料活用，教師の働きかけなどの活動を通して，本時のねらいに迫りたいと考える。

4 単元の指導と評価の計画（4時間扱い）

〔関〕関心・意欲・態度 〔思〕思考・判断・表現 〔技〕技能 〔知〕知識・理解

時	主な学習活動	評価の観点
1	1 今，日本では韓流スターやK POP が大人気であることを，写真を使って紹介し，日本と韓国が文化の面で交流していることを確認する。 2 韓国人による「日本を『好き』『どちらかといえば好き』のアンケート」表を見て（20代は42%だが，60代と70代の人は17%と低くなる。），なぜ，韓国人は年齢が上がるほど「日本を好き」の割合が低くなっていくのか考える。 3 単元を貫く課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> なぜ韓国の60～70代の人は「日本を好き」の割合が低くなっているのだろう。 何かを探っていこう </div> 4 自分の考えをノートにまとめる。	〔関〕学習の見通しをもち，今後の追究への意欲をもっている。
2 ↓ 4 （ 本 時 は 4 時 ）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> なぜ韓国の60～70代の人は「日本を好き」の割合が低くなっているのかを「日清戦争」から探っていこう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> なぜ韓国の60～70代の人は「日本を好き」の割合が低くなっているのかを「日露戦争」から探っていこう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 韓国併合について調べたことを基に，これからの日韓関係について自分の考えをまとめよう。 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 1 3～4人のグループで意見交換をする。 2 全体で話し合う。 3 自分の考えをノートにまとめる。 </div> <div style="font-size: 2em;">} 第2時から第4時まででは同じ流れ</div> </div>	〔思〕日清・日露戦争，韓国併合について，多面的・多角的に考察している。 〔技〕日清・日露戦争，韓国併合についての資料を適切に選択し読み取ろうとしている。 〔知〕我が国の国際的地位が向上したことを理解している。
4	4 単元を貫く課題について，自分の考えをノートにまとめる。 5 これからの日韓関係について考える。	〔関〕今後の追究への意欲をもっている。

5 本時の目標

(1) 本時の目標

韓国併合について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現することができる。

(2) 資料・準備

日本人が好きな韓国人アーティストの写真 (KARA, 少女時代, チャン・グンソク, CNBLUE)

「安重根の切手」の写真, 「伊藤博文の1,000円札」の写真

(3) 展開

学習の流れと形態	学習活動及び内容	指導上の留意点と評価 (◎)
出 会 い	1 単元を貫く学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 韓国人アーティストの写真を提示し、現在の日韓関係について触れる。 日清・日露戦争は100年以上前なので、年号を確認し、韓国の60~70代の人は戦争を経験していないことに気付かせる。 大日本帝国憲法をつくった伊藤博文の役割を復習することで、日本にとっての政治的役割を考えさせる。 作業が進まない生徒には、日本が朝鮮の植民地化を行った過程や結果について調べるよう助言する。 グループで互いの考えを発表し合い、様々な考えに触れることで各自の考えを深めさせる。 意見交換で出てきた言葉をキーワードとして取り上げ、板書する。 <p>◎ 韓国併合について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (思考・判断・表現) <ノート, ワークシート></p>
課 題	2 資料「切手になった安重根 (韓国)」と「お札になった伊藤博文 (日本)」を提示し、切手やお札になるのは、どのような人物なのか考える。	
	3 本時の課題を設定する。 韓国併合について調べたことを基に、これからの日韓関係について自分の考えをまとめよう。	
解 決	4 韓国併合について調べる。	
	5 自分の考えを導き出す。	
	6 3の課題について、自分の考えを基に、グループで話し合い、考えを深める。	
	7 全体で話し合い、自分の考えをまとめる。	
新 た な 課 題	8 これからの日韓関係について、自分の考えをまとめる。	